

地域おこし協力隊の現場を訪ねて

奥出雲の「ほうれんそう太郎」 vol.1



昨年秋から大馬木にある株式会社ふくに農業応援研修員として着任した佐藤邦和隊員（埼玉県出身）を訪ねました。奥出雲町へ来たきっかけは、たまたまテレビ番組で町の紹介を見て役場に問合せ、社長の福田さんと出会いました。

そんな佐藤隊員と福田さんが一緒に仕事する、ほうれん草の出荷を見せてもらいました。ほうれん草がベルトコンベアで次々と届くのに合わせ、手と目を動かす佐藤さん。ペースに遅れず一定での確かな動きは調和して無駄がありません。ポイントをチェックしサイズごとに仕分け、束になったら袋に入れる連続作業にものすごい集中力が感じられます。福田さんは一言も言わず厳しく見守っていました。



常に安全に気を配る。



素早い目の動きでチェック！

「ほうれん草はやりがいがある。痛みやすくデリケートな野菜なので丁寧に扱わないといけないし、自分の心の結果がほうれん草に表れていると思う。ものをつくって食べるということは人の暮らしの中で軸として必要なことだと思ったので、それを人に伝えていくべきだと実感している。将来、これから農業をしたいと思う方のために支援、協力、指導できるほどの経験を積んで、そういう機会を他の方にもつなげていくことができればいいなと思っている。」と意気込みを話してくれました。



さとう くにかず
佐藤邦和隊員

取材：坪倉（地域おこし協力隊・定住コーディネーター）

次回は、奥出雲の「リコピン王子」長本寛司隊員です。